

NEWS RELEASE

THE SHIMIZU BANK,LTD.

令和 8 年 8 月 2 5 日

株式会社 清水銀行

株式会社創造舎様による「しみず DX 宣言書作成支援サービス」のご利用について

株式会社清水銀行（頭取：岩山靖宏、以下「当行」）のグループ会社である、株式会社しみずフューチャーデザイン（社長：松本亜紀）は「しみず DX 宣言書作成支援サービス」の提供を行っております。

本サービスは、お客様のありたい姿や DX 化に向けた課題を整理・可視化し、企業価値向上に資する取り組みとなります。本サービスでは DX 宣言書と DX ロードマップの作成に加え、DX 宣言書の内容を説明する動画を作成いたします。

このたび株式会社創造舎様（本社：静岡県静岡市、代表取締役：山梨洋靖）が DX 宣言書を作成いたしました。

会 社 名	株式会社創造舎
所 在 地	静岡県静岡市葵区人宿町 2 丁目 6 番地の 1 0 SOZOSYA ビル 2 F
代 表 者	山梨 洋靖
事 業 内 容	地域デベロッパー

「しみず DX 宣言書作成支援サービス」の概要

サ ー ビ ス 内 容	①DX 宣言書・DX ロードマップ作成支援 ②DX 宣言書説明動画の作成
費 用	275,000 円(税込)

当行および清水銀行グループは、引き続きグループ全体で地域経済の持続的発展・企業価値向上に取り組んで参ります。お申し込みは最寄りの清水銀行店舗にお問い合わせください。

本件に関するお問い合わせ

清水銀行 営業統括部 酒井 TEL (054) 366-9990

しみずフューチャーデザイン 松井 TEL (054) 340-3780



清水銀行

株式会社 創造舎 DX宣言書

2026年8月7日(制定日)

株式会社 創造舎

代表取締役 山梨 洋靖

◆ 経営理念

使命 (Mission) 静岡に根ざし、情熱ある人が集う場をつくる
約束 (Promise) ①建築という「場」を大切にすること
②技術という「手」を磨き上げる
③情熱という「心」を未来につなぐ
合言葉 (Motto) ～ 情熱は、やがて文化になる ～

◆ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術とデータ活用を通じて、建築・不動産・宿泊・飲食・工芸・体験・販売の各事業を横断的に繋ぎ、社員一人ひとりが数字をもとに考え、常に新たな価値を創造し続ける企業を目指します
- ◆ 静岡発の文化交流の場を新たに生み出し未来へ繋げるために、全社員がデジタル技術を最大限活用します

◆ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2027年3月)

戦略 「データ活用に向けた状況整理+環境整備」

- 施策 ・ 経営・各事業運営に関する必要データの取得可否・取得頻度やデータ連携状況を整理
例・・・会社全体・事業別・施設別の売上、利益、人件費、経費、キャッシュフロー、来場状況、客単価など
- ・ 新たな価値を創造し続けるために必要なデータ活用の在り方を整理
例・・・顧客データの事業間連携や各データのリアルタイム更新など
- ・ 全員が数字をもとに考え、改善を話し合うための社内共通環境の整備

➤ フェーズ2(2027年4月 ～ 2028年8月)

戦略 「顧客体験価値の最大化に向けたデータ活用の実践」

- 施策 ・ 宿泊・飲食・工芸・体験・販売に関する顧客データの取得&連携
- ・ 来場者数、客単価、予約経路、広告効果等をもとにした改善施策を継続的に検討
- ・ 小さな改善から現場で繰り返し実行し、成果を社内共有(=施策検討～実行までの定着化)

➤ フェーズ3(2028年9月 ～ 2029年8月)

戦略 「泉ヶ谷エリアのブランド化」

- 施策 ・ 各施設における体験を匠宿ブランドと結びつけ、泉ヶ谷エリア一帯を最大限楽しめる場へ進化させる
(=匠宿工芸村創造計画)
- ・ 各事業の進化・連携や泉ヶ谷エリアを起点とした静岡発の文化創造・発信に向けて、外部パートナーやデジタル技術を最大限活用

◆ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

◆ DX推進目標

- ・ データ活用の方針確定 : 完了 (～2027年3月)
- ・ データ起点の改善施策実行 : 計15件 (～2028年8月)
- ・ 泉ヶ谷エリアへの来場者数 : 年間30万人 (～2029年8月)